

県北・県中・会津都市計画 区域マスタープランについて

都市政策推進専門小委員会
令和元年11月15日(金)開催

第14回都市政策推進専門小委員会（R1.11.15開催）

【議題】

- ① 県北・県中・会津都市計画区域マスタープランについて
- ② 住民意見の反映について
 - ・住民懇談会の実施方法と内容
 - ・アンケート調査の実施方法と内容
- ③ 区域区分の見直しについて
 - ・見直しの基本方針
 - ・市街化区域、市街化調整区域への編入基準等
- ④ 今後のスケジュール

① 県北・県中・会津都市計画区域マスタープランについて

・見直しの経緯

都市計画区域マスタープラン
(平成26年度策定)

県北都市計画区域マスタープラン

福島市・伊達市・国見町・桑折町

県中都市計画区域マスタープラン

郡山市、須賀川市、鏡石町

会津都市計画区域マスタープラン

会津若松市、会津美里町



都市計画区域マスタープランの見直し
(令和元年度見直し着手)

① 県北・県中・会津都市計画区域マスタープランについて

小委員会意見

- 世界的課題、SDGs(持続可能な開発目標)等の広い視点からの見直しが必要ではないか。
- 都市づくりのビジョンにおける古い言葉、欠けている部分も検討していきたい。
- 見直し作業中の県総合計画や県土づくりプランとの整合が必要ではないか。
- 基本方針にある「田園地域等」は古くて新しい言葉。幅を広げた議論をしたい。
- 県民の関心の高い「災害・防災」は強調すべきではないか。
- 市街化区域の被災地域、住めない地域、住みたくない地域をどうするか。
- 県北・県中では区域マスと連携中枢都市圏との連携の整理が必要ではないか。
- コンパクトで賑わいのある都市にしていく考えを色濃く出すか整理が必要ではないか。

②住民意見の反映について

・住民懇談会の実施方法と内容

- 住民意見を把握・反映するため、各都市計画区域を構成する市町の交通事業、農工商、福祉等に携わる住民懇談会を実施する。(各区域10名程度)
- 第1回 令和元年10月(開催済) ……区域マス概要、地域の課題等について
- 第2回 令和2年 2月頃予定 ……地域の将来像について

小委員会意見

【住民懇談会】

- 住民懇談会は、かなり重要な意見が出ている。
よく分析をお願いしたい。

②住民意見の反映について

・アンケート調査の実施方法と内容

○目的

区域内に居住する住民を対象として広く意見を聴取し、生活満足度や都市づくりの将来像等について意向を把握する。

○対象

県北、県中、会津都市計画区域内の住民約2,000人
(学生、若い世代、行政区長、まちづくり従事者)

○実施時期

令和元年12月～令和2年1月

小委員会意見

○中学生はお金を自由に使えないので、高校生や大学生等も対象にしてはどうか。

○地域への愛着などが分析できると思うので、属性に住居(一戸建て、賃貸等)、居住年数の項目も加えた方が良いのではないか。

○子供・高齢者をひとくりにしているが、交通手段は分けた方が良いのではないか。

○子どもの概念も幅広い(あいまい)ので、明確にできるようにしてはどうか。

○アンケートの狙いを明確にしたほうがよいのではないか。

③区域区分の見直しについて

- 区域区分とは… 無秩序な市街地化の防止、計画的市街地の整備、周辺の農地及び自然環境保全等の観点から4区域(県北、県中、会津、いわき)で区域区分を定めている。
- 見直し方針… 平成22年3月に「市街化区域及び市街地化調整区域に関する都市計画の見直しの基本的事項」(「基本的事項」)を定め運用してきた。
■【今回】 県北、県中、会津区域の見直しも、「基本的事項」により進める。

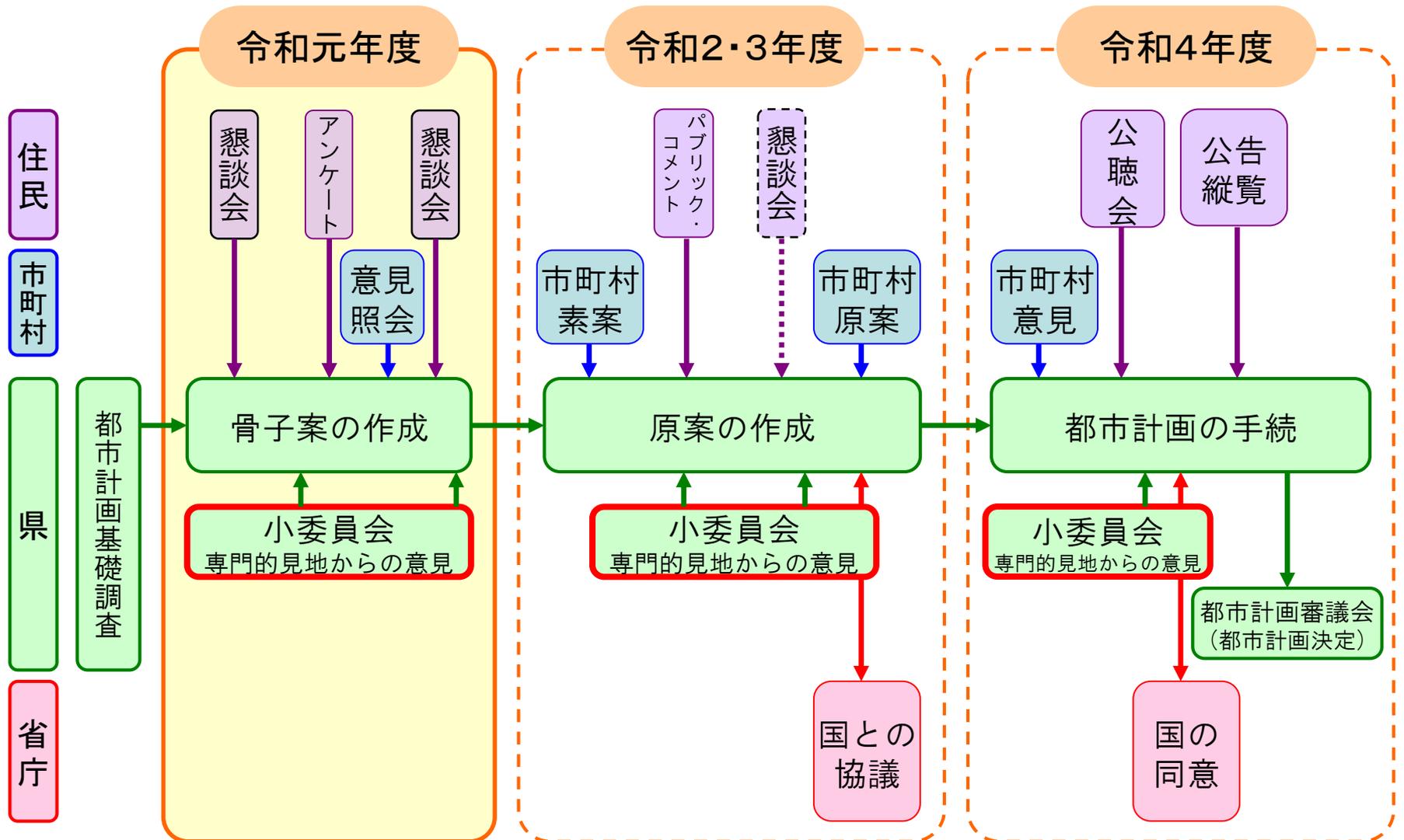
◎見直し経緯

当初	昭和45年
第1回定期見直し	昭和53年
第2回定期見直し	昭和59年
第3回定期見直し	平成4年
第4回定期見直し	平成13年
第5回定期見直し	平成16年
第6回定期見直し	平成25年 (いわき都計除く)
第6回追加見直し	令和元年 (いわき都計)
第7回定期見直し	今回見直し (県北、県中、会津)

小委員会意見

- 市街化区域が少ないとの声の一方で、空き家、空き地から見ると、広げなくてもいいという声もある。慎重に議論できれば良いのではないか。
- (震災関連で市街化区域を拡大した経緯を踏まえて)すべての案件で市街地を広げて良いわけではないのではないか。
- 都市と田園地域等のあり方の議論も必要ではないかと思う。

④今後のスケジュール



その他意見

- 基礎調査の項目を示して欲しい
- 次回の小委員会時に、原案を示して欲しい